

## 平成26年10月定例教育委員会会議の要旨

### 1 日 時

平成26年10月16日（木）

開会 14時00分

閉会 15時35分

### 2 場 所

教育庁教育委員会室

### 3 出席委員

委員長

山縣 俊郎

委員長職務代理者

岡野 芳子

委員

中田 範夫

委員

宮部 秀文

委員（教育長）

浅原 司

### 4 出席者

教育次長

原田 尚

教育次長

小西 哲也

審議監

廣川 晋

審議監

河村 行則

教育政策課長

嘉村 靖

教職員課長

首藤 裕司

義務教育課長

清時 崇文

高校教育課長

栗林 正和

特別支援教育推進室次長

石本 正之

社会教育・文化財課長

藤村 恭久

世界アウトジャンホリ開催支援室次長

河村 祐一

人権教育課長

高原 透

学校安全・体育課長

御神本 実

教育政策課企画監

濱井 昭巳

やまぐち総合教育支援センター次長

小村 信

## 議案

議案第1号『山口県立高等学校等の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について』  
「山口県立高等学校等の管理に関する規則」の一部改正について、高校教育課から説明し、承認を求めた。

### 【概要】

#### 山口県立高等学校等の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について

##### 1 改正の趣旨

平成27年度の山口県公立高等学校の入学定員等の策定に伴い、同規則の別表の1の一部を改正するもの。

##### 2 改正の内容

別表の1のうち、以下の事由に伴い、関係学校の第1学年生徒定員等を改める。

- ・宇部商業高等学校の学科改編
- ・周防大島高等学校等の入学定員の変更

##### 3 施行期日

平成27年4月1日

議案第1号については、全出席委員の賛成により承認された。

### 議案第2号『文化財の県指定について』

「山口県文化財保護条例」第37条第2項の規定による文化財の山口県指定史跡指定及び同条例第5条第2項の規定による山口県指定天然記念物及び史跡の指定解除及び指定の一部解除について、社会教育・文化財課から説明し、承認を求めた。

### 【概要】

#### 1 新指定：長府藩主毛利家墓所

- 種 別 史跡
- 名 称 長府藩主毛利家墓所
- 所在の場所 (功山寺) 下関市長府川端一丁目2171番1  
(笑山寺) 下関市大字豊浦村字土肥山2692番地  
(覚苑寺) 下関市長府安養寺三丁目1272番地・312番地4

- 所有者 宗教法人 功山寺（下関市長府川端一丁目2番3号）  
宗教法人 笑山寺（下関市長府川端二丁目4番1号）  
宗教法人 覚苑寺（下関市長府安養寺三丁目3番10号）  
毛利元海（東京都目黒区東が丘二丁目15番37号）

○ 概要

長府藩は、萩藩主毛利輝元・秀就父子から毛利秀元が慶長5年に長門府中（長府）を与えられ立藩。表高5万石、長門国豊浦郡を中心に所領を形成（ただし、萩藩主からの分知（所領を分け与えられること）による）。以後、14代の藩主が続いた。

長府藩主毛利家墓所は、下関市の功山寺、笑山寺、覚苑寺の3ヶ寺に所在する。この内、功山寺、笑山寺は詣り墓（近代に没した14代元敏は功山寺に埋葬）、覚苑寺は埋葬墓である。

○ 価値

- ・近世大名家墓所の形態をよくとどめたもの。
- ・近代における旧大名家の墓制のあり方が窺える好例。

**2 解除：教念寺のナナミノキ**

- 所有者 宗教法人 教念寺
- 所在地 宇部市大字上宇部561番地
- 解除の理由 台風禍により天然記念物としての価値を喪失。

**3 一部解除：岩国市楠町一丁目のクスノキ巨樹群及びムクノキ巨樹**

- 所有者 国土交通省
- 所在地 岩国市楠町一丁目595番地の一1地先堤とう敷及び河川敷
- 一部解除の理由 台風禍により天然記念物としての価値を喪失。

**4 一部解除：野村望東尼終焉の宅及び宅跡並びに墓**

- 所有者 （宅）河野俊乎（防府市栄町一丁目1-706号）  
（宅跡）松林行雄・政子（防府市三田尻本町10番2号）  
（墓）防府市（防府市寿町7番1号）
- 所在地 （宅）防府市岡村町5番3号  
（宅跡）防府市三田尻本町10番2号  
（墓）防府市桑山一丁目4番
- 一部解除の理由 指定調書は当時の伝聞によるものであり、根拠に乏しい。

議案第2号については、全出席委員の賛成により承認された。

## 報 告 事 項

◆平成27年度(2015年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験(第二次試験)の選考結果について、教職員課から以下のとおり報告が行われた。

### 【概 要】

#### 平成27年度(2015年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験 (第二次試験)の選考結果について

#### 1 概 要

※ ( ) は昨年度

第二次試験は、志願者1,599人(1,677人)のうち、第一次試験合格者608人(595人)及び第一次試験免除者165人(152人)を対象に実施し、このうち、753人(726人)が受験しました。選考の結果、387人(373人)を採用候補者名簿の登載予定者としました。

最終倍率は全体で3.9倍(4.2倍)となり、選考区分、志願区分別の採用候補者名簿登載予定者数及び最終倍率は、次のとおりです。

選考区分・志願区分	名簿登載予定者数	最終倍率
一般選考	小学校	199人 (195人) 2.2倍 (2.5倍)
	中学校	94人 (95人) 5.0倍 (5.2倍)
社会人特別選考	高等学校	60人 (48人) 7.4倍 (9.0倍)
	計	353人 (338人) 3.8倍 (4.2倍)
スポーツ・芸術特別選考	特別支援学校小学部	4人 (4人) 5.0倍 (6.5倍)
博士号取得者特別選考	特別支援学校中学部	4人 (4人) 4.3倍 (4.5倍)
	特別支援学校高等部	5人 (5人) 3.8倍 (3.6倍)
看護科・理療科教諭特別選考	計	13人 (13人) 4.3倍 (4.8倍)
	養護教諭	21人 (22人) 4.6倍 (4.9倍)
合 計	387人 (373人)	3.9倍 (4.2倍)
身体障害者を対象とした選考	0人 (0人)	一倍 (一倍)
身体障害者を対象とした選考を含む合計	387人 (373人)	3.9倍 (4.2倍)

名簿登載予定者数のうち、社会人特別選考による者は、小学校1人(1人)、中学校0人(0人)、高等学校0人(0人)、スポーツ・芸術特別選考は、中学校1人(3人)、高等学校0人(1人)、博士号取得者特別選考は、2人(0人)、看護科・理療科教諭特別選考は、高等学校1人(\*)、特別支援学校高等部1人(1人)でした。

#### 2 採用について

採用については、平成27年度(2015年度)山口県公立学校教員採用候補者名簿に登載された者の中から必要に応じて決定します。

#### 3 その他

採用予定者が自信と熱意をもって4月からの教職生活をスタートすることができるよう、採用予定者を対象に着任するまでの心構え等について学ぶ研修を12月25日(木)、26日(金)に実施します。

資 料

平成27年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の選考結果

1 選考区分・志願区分別の受験状況及び採用候補者名簿登録予定者数

( ) は昨年度

選考区分・志願区分	志願者数	内第一次試験 免除者数① ※1	第一次試験			第二次試験 ※2			最終倍率 (①+②)/⑤	
			受験者数②	合格者数③ ※3	倍率②/③	受験者数④ ※3	登録予定者数⑤ ※3	倍率④/⑤		
一般選考、 博士号取得者、 社会人、 看護科・ スポーツ・ 療養科・ 教諭	小 学 校	459 (505)	41 (53)	393 (425)	222 (220)	1.8 (1.9)	256 (265)	199 (195)	1.3 (1.4)	2.2 (2.5)
	中 学 校	500 (523)	64 (44)	403 (448)	166 (188)	2.4 (2.4)	223 (228)	94 (95)	2.4 (2.4)	5.0 (5.2)
	高 等 学 校	480 (473)	48 (35)	396 (399)	160 (131)	2.5 (3.0)	202 (162)	60 (48)	3.4 (3.4)	7.4 (9.0)
	計	1,439 (1,501)	153 (132)	1,192 (1,272)	548 (539)	2.2 (2.4)	681 (655)	353 (338)	1.9 (1.9)	3.8 (4.2)
	特別支援学校小学部	20 (26)	1 (3)	19 (23)	9 (10)	2.1 (2.3)	10 (11)	4 (4)	2.5 (2.8)	5.0 (6.5)
	特別支援学校中学部	17 (18)	4 (3)	13 (15)	6 (7)	2.2 (2.1)	10 (10)	4 (4)	2.5 (2.5)	4.3 (4.5)
	特別支援学校高等部	19 (18)	2 (4)	17 (14)	10 (7)	1.7 (2.0)	12 (11)	5 (5)	2.4 (2.2)	3.8 (3.6)
	計	56 (62)	7 (10)	49 (52)	25 (24)	2.0 (2.2)	32 (32)	13 (13)	2.5 (2.5)	4.3 (4.8)
	養 護 教 諭	103 (113)	5 (10)	92 (98)	35 (32)	2.6 (3.1)	40 (39)	21 (22)	1.9 (1.8)	4.6 (4.9)
	合 計	1,598 (1,676)	165 (152)	1,333 (1,422)	608 (595)	2.2 (2.4)	753 (726)	387 (373)	1.9 (1.9)	3.9 (4.2)
身体障害者を対象とした選考	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	— —	0 (0)	0 (0)	— —	— —	
身体障害者を対象とした選考 を含めた合計	1,599 (1,677)	165 (152)	1,334 (1,423)	608 (595)	2.2 (2.4)	753 (726)	387 (373)	1.9 (1.9)	3.9 (4.2)	

※1 前年度採用選考試験第二次試験の総合評価ランクがA又はB評価の者及び他県における本採用教員で、平成26年3月31日現在、3年以上の勤務経験(志願区分(校種等)の教科と同一の勤務経験)を有する者は、第一次試験を免除している。

※2 第二次試験は、第一次試験免除者(①)及び第一次試験合格者(③)を対象に実施した。

※3 第一次試験合格者数、第二次試験受験者数及び登録予定者数には、第二志願で合格した者を含む。

【 質 疑 】

- 委 員 長：志願者の数や倍率の状況はどうなっているか。
- 教 職 員 課 長：志願者の数については例年と同様。一方で、採用予定者数が、大量退職に伴い増加したため倍率は下がっている。
- 委 員 長：他県の志願者の状況はどうなっているか。
- 教 職 員 課 長：本県と似たような状況にある。特に中国5県は取り合いというような状況にあるため、セミナーの開催等、高校生や大学生に対するPRをしっかりと行い、志願者の確保に努めたい。
- 岡 野 委 員：身体障害者枠について、志願者が1名で一次試験を受けているが、二次試験を受けていない理由は何か。障害を持った方でも山口県は教員になれる道を開く方法はないのか
- 教 職 員 課 長：一次試験では、教科専門、それから教職専門、それと集団討論を行っているが、教科の力がどうしてもなければ、一次試験の突破はできないため、今回の結果になっている。障害者の採用については、実習助手等の学校職員においても志願者が3名おり、そちらでも採用を進めていきたいと考えている。
- 浅原教育長：身体障害者の雇用については、法定雇用率が定められており、教育委員会もその達成に向けて努力しているところ。しかし、教員の採用となる

と教員免許状が必要になり、志願者が少ないのが現状。高校等でもPRはしているが、なかなか数が増えず今後の大きな課題と考えている。

- 宮部委員：教員の給与については、県によって差が生じることはないのか。
- 教職員課長：教員の給与については、給料については統一した給料表をもとに、各県それぞれが設定しており、大きな差はない。ただ、東京等の場合、地域手当の部分で差が生じることはある。

◆平成27年度山口県立中等教育学校及び中学校入学者選抜実施要領及び入学者募集要項並びに選考検査問題作成方針について、高校教育課から以下のとおり説明が行われた。

【概要】

平成27年度山口県立中等教育学校及び中学校入学者選抜実施要領及び入学者募集要項並びに選考検査問題（記述式の課題1及び記述式の課題2）作成方針について

1 実施要領及び募集要項並びに選考検査問題（記述式の課題1及び記述式の課題2）作成方針の概要について

- (1) 実施要領  
応募資格、入学定員、出願の手続、選考検査の実施期日・日程・方法、選抜の方法、入学予定者の手続、補欠入学、願書及び調査書の様式・記入例等、入学者選抜に関し必要な事項を定めたもの
- (2) 募集要項  
実施要領記載事項のうち、志願者が出願する際に必要となる事項を中心に示したもの
- (3) 選考検査問題（記述式の課題1及び記述式の課題2）作成方針  
選考検査問題（記述式の課題1及び記述式の課題2）を作成するに当たっての方針を定めたもの

2 実施要領の要点について

- (1) 応募資格  
保護者（児童に対して親権を行う者をいい、親権を行う者のないときは、未成年後見人をいう。）の住所が県内にある者で、平成27年3月に小学校等を卒業する見込みのもの
- (2) 入学定員  
山口県立下関中等教育学校 120人  
山口県立高森みどり中学校 40人
- (3) 日程  
ア 出願の期間 平成27年1月5日（月）から1月8日（木）午後5時まで  
イ 選考検査の実施日 平成27年1月17日（土）  
ウ 入学予定者の発表 平成27年1月28日（水）午後4時にそれぞれの学校に掲示する。  
受検者全員に郵送で通知する。
- (4) 出願の手続  
志願者は、次に掲げる書類等を提出する。  
ア 入学及び選考検査受検願書  
イ 調査書  
ウ 受検票を送付するための封筒
- (5) 選考検査の方法  
ア 面接（個人面接）  
イ 記述式の課題1及び記述式の課題2（資料をもとに考えたこと等を問う。）
- (6) 選考検査管理委員会  
山口県立中等教育学校及び中学校に校長を長とする選考検査管理委員会を置き、厳正を期する。
- (7) 選抜  
山口県立中等教育学校長及び中学校長は、調査書及び選考検査の結果により、入学予定者を選抜する。
- (8) 入学予定者の手続  
ア 入学意思確認書の提出  
イ 入学予定者証明書の交付  
ウ 市町教育委員会への届出 等
- (9) 補欠入学等  
入学予定者とならなかった者の中から補欠入学予定者を決定し、入学意思を確認した上、入学予定者に充てる。  
補欠入学を実施する期間は、平成27年2月20日（金）までとする。

3 入学者選抜説明会について

- 小学生・保護者を対象とした入学者選抜説明会を両校で実施する。
  - ・山口県立下関中等教育学校 平成26年11月1日（土）午前10時から午前11時30分まで
  - ・山口県立高森みどり中学校 平成26年10月25日（土）午前8時50分から午前11時50分まで

**平成27年度山口県立中等教育学校及び中学校入学者選抜のための  
選考検査問題（記述式の課題1及び記述式の課題2）作成方針**

6年間にわたる中高一貫教育の中で、多様な教育活動に意欲的に取り組むことができる児童を選抜するために、小学校の学習内容を踏まえ、次の点に留意して記述式の課題による検査問題を作成するものとする。

- 1 資料をもとに考えたこと等を問う内容とする。
- 2 自ら課題を見つけ、筋道を立てて考え解決しようとする態度や能力等を総合的にみることができるよう出題に努める。
- 3 一人ひとりの児童の意欲や発想の豊かさ等をみることができるよう出題するよう心がける。

**◆平成27年度山口県立学校現業職員の実習助手及び栄養士への任用替え特別選考試験の実施について、高校教育課から以下のとおり報告が行われた。**

**【概要】 山口県立学校現業職員の実習助手及び栄養士への任用替え特別選考試験の実施について**

**1 志願区分及び職務の概要**

実習助手及び栄養士として県立学校に配置され、次の職務に従事します。

志願区分	職務の概要
実習助手（普通教科）	普通教科の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。
実習助手（農業）	農業の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。
栄養士	県立学校における専門業務

**2 受験資格**

平成25年度に山口県教育委員会が実施した行政職への任用替え特別選考試験に合格した者のうち、農場員、畜産員、介助員及び調理員の職にある者が受験できます。

なお、志願区分により、次の資格要件が必要です。

志願区分	資格要件
実習助手（普通教科）	介助員として県立学校に勤務している者
実習助手（農業）	農場員及び畜産員として県立学校に勤務している者
栄養士	調理員として県立学校に勤務し、栄養士免許状を取得している者

**3 選考試験日時・場所・内容**

- (1) 日 時 平成26年11月25日(火)
- (2) 場 所 山口県教育庁本館棟14階1号会議室ほか
- (3) 内 容

実習助手（普通教科）	実習助手（農業）	栄養士
教養試験（高校卒業程度）	教養試験（高校卒業程度）	教養試験（短大卒業程度）
小論文（高校卒業程度）	専門試験（高校卒業程度）	専門試験（短大卒業程度）
面接	面接	面接

**4 合格者の発表**

平成26年12月25日(木)に所属長（親展）あて郵送します。

## 意見交換

◆世界スカウトジャンボリーを契機とした国際教育の推進について、以下のとおり意見交換を行った。

### 【概要】

#### 1 地域プログラムモデル事業について

#### 地域プログラムモデル事業について

月日	開催地	内 容	語学ボランティア	市民等参加者
8/1 (金)	下関市	【午前】10:00～12:00 場所:長府庭園 協力:長府地区ふるさと教育ネット“ほっちゃんや” 内容:豊浦小、長府中、長府高、豊浦高生徒との交流 (歓迎演奏、茶道・書道・七夕祭体験)	下関西(3) 下関南(2) 下関中等(3)	400名
		【午後】13:30～16:00 場所:海峡メッセ下関 協力:しものせき国際交流ねっと 内容:世界の飲物試飲、民族衣装ショー、平家太鼓、平家踊等による市民との交流		
8/4 (月)	美祿市	【午前】 10:00～14:30 場所:秋芳八代ぬくもりの里 (秋芳町嘉万) 協力:秋芳八代振興会 内容:地元住民や児童生徒との交流 (別府岩戸神楽の披露、餅つき体験、秋芳北中生徒等との書道、華道体験)	宇部(3) 小野田(2) 美祿青嶺(2)	74名
		【午後】 15:15～16:15 場所:秋吉台・秋芳洞 内容:秋芳洞見学(美祿ジオパークに係る情報発信) (観光ディレクターによる秋芳洞案内、商店街での買物)		
8/6 (水)	光市	【午前】 10:30～12:45 場所:光市防災センター 協力:光地区消防組合消防本部 内容:防災体験(地震・火災体験、消防車両見学)	岩国(2) 柳井(3) 光(2)	283名
		【午後】 13:00～15:00 場所:光高・光丘高・聖光高 内容:高校生との交流 (剣道、弓道、琴、茶道等、日本文化の体験)		
8/7 (木)	山口市	【午後】 14:00～18:00 場所:菜香亭 協力:おおどのコミュニティー協議会、山口路傍塾 内容:ちようちん制作の見学・体験、着物文化の体験	山口(3) 山口中央(2) 防府(3)	50名
		【夕刻】 18:30～20:00 場所:七夕ちようちん祭り会場 協力:山口市ふるさとまつり実行委員会 内容:ちようちん祭の火入れ体験、祭り散策		



地域プログラムモデル事業（下関市）

- 1 期 日 平成 26 年 8 月 1 日（金）  
 2 場 所 長府庭園、海峡メッセ下関、他  
 3 日 程

時 刻	内 容
9 : 50	長府庭園到着
10 : 00	プログラム 1 「豊浦小児童との交流」（会場：長府庭園） ○児童生徒による歓迎行事 豊浦小学校維新太鼓・金管クラブによる演奏 ○体験コーナー（茶道、書道、七夕づくり）での交流
12 : 10	
12 : 30	海峡メッセ下関へ移動 海峡ゆめタワーの見学および昼食・休憩
13 : 30	プログラム 2 「市民との交流」（会場：海峡メッセ 9 階海峡ホール） ○歓迎行事 ○カフェコーナー（世界 8 カ国のドリンク試飲） ○遊びのコーナー（日本や世界の遊びや楽器の体験） ○世界の民族衣装ファッションショー
16 : 10	○平家太鼓披露・平家踊り  海峡メッセ下関出発 ※ 帰路、馬関開港 150 周年記念で寄港中の帆船「日本丸」・「海王丸」を見学

- 4 参加者 一般市民・団体・児童生徒等 400 名  
 5 成 果 「豊浦小児童との交流」は、ほっちゃや（長府地区ふるさと協育ネット）が中心となり、豊浦小をはじめ、近隣の中学校・高等学校や P T A と連携した形で企画・運営されたスタイルであり、来年の学校訪問の参考事例となった。  
 「市民との交流」では、しものせき国際交流ねっと（国際交流団体）が、これまでの活動のノウハウを活かした企画・運営を行い、多くの市民参加を得た。お茶を飲みながら自由に交流できるカフェコーナーもあり、参加者と海外スカウトが自然に交流できた。  
 さらに、海峡ゆめタワーや帆船の見学など下関市ならではのプログラムも展開された。

地域プログラムモデル事業（美祢市）

- 1 期 日 平成 26 年 8 月 4 日（月）  
2 場 所 秋芳八代のぬくもりの里交流センター、秋芳洞  
3 日 程

時 刻	内 容
9 : 45	秋芳八代のぬくもりの里交流センター到着
10 : 00	開会行事 ○別府岩戸神楽舞（秋芳北中生徒）
10 : 30	プログラム 1 「日本の伝統文化に触れる体験」 ○「餅つき体験・試食」（地域住民や児童生徒との交流）
12 : 00	（昼食・休憩）
12 : 45	○書道・華道体験（地域住民や児童生徒との交流）
14 : 30	秋芳洞へ移動
15 : 00	プログラム 2 「秋芳洞見学」 ○観光ディレクターの案内による秋芳洞見学 ○商店街での買い物
16 : 00	秋芳洞出発

- 4 参加者 市民団体、児童生徒等 74 名

- 5 成 果 市内の中学生やジュニアリーダーなどスカウトと同年代の子どもたちが海外の青少年と交流を深める貴重な機会となった。また、餅つき体験・華道体験・書道体験は、来年の地域プログラムに向けて、日本文化を紹介するプログラムを企画する参考例となった。さらに、地域住民が各体験の講師や運営ボランティアとして参加したことは、地域力を発揮するとともに住民の国際理解の促進にもつながった。

秋芳洞見学は、美祢市の魅力を情報発信する機会となるため、入洞口の商店街での買い物を含め、来年の地域プログラムにおいてもコースとして検討されている。海外スカウトがお土産等の買い物を円滑にできるよう、商店街の外国語表記が課題として挙げられている。

## 地域プログラムモデル事業（光市）

- 1 期 日 平成 26 年 8 月 6 日（水）  
2 場 所 光地区消防組合消防本部、光高校、光丘高校、聖光高校  
3 日 程

時 刻	内 容
10 : 30	消防本部到着
10 : 40	開会セレモニー
10 : 50	防災センターの見学・体験 ○消火活動バーチャル体験や災害遭遇時の避難バーチャル体験 ○消防車両の見学
13 : 00	グループに分かれ、光高校、光丘高校、聖光高校へ学校訪問 ◇光高校 ○ウェルカム・グリーティング、校内見学 ○茶道・弓道の体験を通じた高校生との交流 ○高校生との交流会  ◇光丘高校 ○吹奏楽・茶道・弓道の体験を通じた高校生との交流  ◇聖光高校 ○剣道・茶道・琴の体験を通じた高校生との交流
15 : 30	光市出発

- 4 参加者 市民団体、児童生徒等 283 名

- 5 成 果 開会セレモニーでは、ガールスカウトの協力による司会進行や挨拶等の英語訳をスクリーンに投影するなど、来年の地域プログラムを見据えた取組が実施された。また、防災センターでは、最先端の機器を活用した避難行動のバーチャル体験や地震体験、消防士や通訳ボランティアの協力により消防車の説明などが行われ、スカウトは質問をするなど興味深く取り組んでいた。

高校での交流は、生徒の国際理解の促進やコミュニケーション能力の向上を図ることができた。とくに武道体験を通じた交流は海外スカウトの関心が高く、来年の学校訪問を企画する上で参考になると思われた。

## 地域プログラムモデル事業（山口市）

- 1 期 日 平成 26 年 8 月 7 日（木）  
2 場 所 菜香亭、山口七夕ちょうちんまつり会場  
3 日 程

時 刻	内 容
13 : 45	菜香亭到着
14 : 00	プログラム 1 「日本の伝統文化の体験・交流」 ○七夕ちょうちんの製作工程の見学・体験
16 : 15	夕食（携行食）
16 : 45	○着物文化の体験（浴衣への着替） 写真撮影等
18 : 00	山口七夕ちょうちんまつり会場へ移動
18 : 30	プログラム 2 「日本の祭りの体験・交流」 ○ちょうちんへの火入れ ○夜店が並ぶ祭り会場の散策
20 : 00	祭り会場出発

- 4 参加者 市民団体、児童生徒等 50 名  
5 成 果 地域住民等に対し、世界スカウトジャンボリーを広報・周知するとともに、通訳・翻訳等に係るボランティアの把握や協力要請、活用に関するノウハウをはじめ、外国人受入れに係る課題の抽出など、来年の地域プログラムにつながる成果を得た。  
また、青少年の健全育成という観点から、海外スカウトと青少年との交流を図ることで、青少年の異文化に対する理解を促進し、国際理解や国際感覚の向上を図ることができた。

## 2 やまぐちジャンボリーフェスタ基本計画について

### ○コンセプト

「世界」が山口にやってくる！！

世界スカウトジャンボリーは、162の国と地域から3万人のスカウトが来県する、またない機会であり、県主催の国際交流イベントである「やまぐちジャンボリーフェスタ」を同時開催することにより、世界のスカウトを「おもてなし」の心で迎えるとともに、県民の力、地域の力が発揮された大会としていく。

- 世界のスカウトへの「おもてなし」
- スカウトと県民の国際交流の場の創出
- 我が国と本県の魅力発信  
(産業、観光、文化、地産地消、クールジャパン、オリンピック等)
- 県民の力、地域の力を発揮したイベント運営



**主 催** 山口県・山口県教育委員会  
世界スカウトジャンボリー山口県支援委員会

**運 営** フェスタ会場内については、世界スカウトジャンボリーを主管する日本連盟との調整の上、山口県が準備・運営を行う。

1

### ○開催日時（7日間実施）

前期：7/30（木）～8/1（土） 後期：8/3（月）～8/6（木）

（上段：世界スカウトジャンボリー日程 下段：やまぐちジャンボリーフェスタ日程）

日程	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
午前	入場 設営	設営	プログラム	プログラム				プログラム			プログラム	撤収 退場
午後		開会式			地産 プログラム	アリー ナ ショー		地産 プログラム			開会式	

フェスタ 日程	やまぐちジャンボリー フェスタ			やまぐちジャンボリー フェスタ		
	オア ツギ	山口 子供				山口 子供
	10:00 ～ 17:00	15:00 ～ 21:00	10:00 ～ 17:00		10:00 ～ 17:00	10:00 ～ 17:00
						7時～ 15:00

2

### ○会場エリア

→世界スカウトジャンボリー会場のうち、山口きらら博記念公園内で開催



3

### ○県民（デイビジター）の入場範囲

→県民は、ジャンボリーフェスタ会場及びワールドスカウトセンターのみ入場可  
→ウェルカムセンターに山口県民専用の入場受付テントを設置

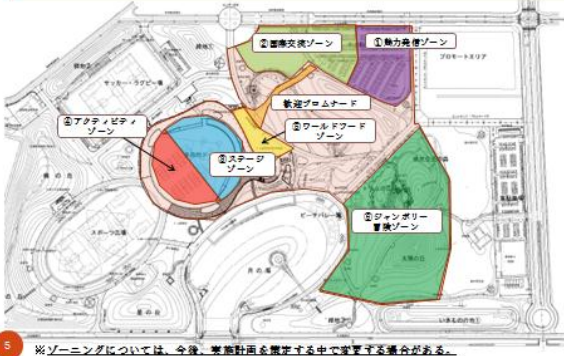


4

【入場方法】  
→ポニースカウト日本連盟の厚意により山口県民  
特別招待券を実施（入場料なし）  
※一般のデイビジター入場料（日本連盟検定中）  
大人：1,000円、小人：1,000円

### ○ゾーニングのイメージ

→各ゾーンを巡るスタンプラリーの実施により来場者の回遊性を向上



※ゾーニングについては、今後、実施計画を策定する中で変更する場合があります。

5

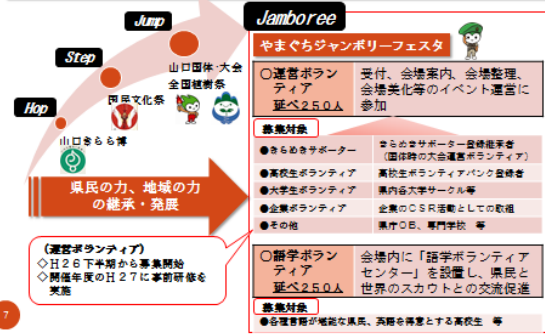
### ○内容案

ゾーン名	内 容
①魅力発信ゾーン (Japan, Yamaguchi and Scouts)	◆日本パビリオン（仮称）の設置（運営主体：国） →我が国の観光情報、国内交通、宿泊手帳、復興アピール、クールジャパン、東京オリンピック等 ◆山口県パビリオン（仮称）の設置（運営主体：県） →本県の産業、観光、食味、文化等のブース、都市ブース、多目的スペース等 ◆スカウトショップ等の設置（運営主体：ポニースカウト日本連盟） ※国・県・ポニースカウトが、それぞれ出展し運営
②国際交流ゾーン (Mixaun)	◆地産地消や「和」をテーマとした飲食・物販・韓国遊びブース等の設置（駐車券等別） ◆趣向対策として竹材、桐材等を活用した交流スペース設置（共生部分） ◆金曜日等で開催する「やぐらステージ」の設置（共生部分） ◆各種アトラクションの実施 ※所収的な日本（本県）の歴史をイメージした合衆デザイン
③ステージゾーン (Main Stage)	◆県民活動団体、市町、著名人等による我が国や本県の魅力発信ステージの実施 ◆世界のスカウトによるデイビジターショーの実施（運営主体：ポニースカウト日本連盟） ※ステージについては、実行団体のアリーナショー等が代替開催としても活用
④アクティビティゾーン (Activity)	◆スカウトと県民が交流できる各種アクティビティの実施 ※ヒーム内は緊急避難車として使用されるため制限
⑤ワールドフードゾーン (International Food)	◆各国の料理店による飲食ブースの設置
⑥ジャンボリー冒険ゾーン (Adventure)	◆冒険型アトラクションの実施 ◆トリスの広場や大講の丘の活用
⑦歓迎プロムナード (Welcome Displays)	◆県内高校生等による歓迎作品の展示 ◆歓迎花の設置

6

○県民参加によるイベント運営

- 県民の力、地域の力が発揮された大会運営
- 7日間延べ500人規模の県民ボランティアを募集予定



○語学ボランティアセンター (Language Volunteer Center)

- 国際交流ゾーン内に「語学ボランティアセンター」を設置
- センター内に語学ボランティアが常駐するほか、会場内を巡回し語学対応

<p>◆県民語学ボランティア</p> <p>各種言語が堪能な県民</p> <p>スタッフ</p>	<p>○国際交流協会の選抜ボランティア登録者等</p> <p>※センターの中心的活動やVIP対応を担う。</p> <p>○大学生（留学生含む）や説明会等に参加した県民等</p>
<p>◆高校生語学ボランティア</p> <p>英語を得意とする高校生等</p>	<p>○スキルアップ研修参加者や各学校から特に推薦された生徒</p> <p>国際教育の推進、グローバル人材の育成</p>

**【語学ボランティアは3交代制で業務】**

- ①語学ボランティアセンター内に常駐
- ②会場巡回
- ③休憩・食事も兼ねたジャンボリーフェスタの体験

○山口ナイト (Parade)

- 7/31(金)及び8/6(木)の17時~21時山口ナイトを実施
- 21時までフェスタ会場等へ県民入場可



（世界のスカウトと県民との交流イベント）

- 道の駅「せらみあじす」からジャンボリーフェスタ会場までの路上において、御輿や提灯り等の陣羽織や伝統のしいばしロードを実施
- 国際交流ゾーン（学生エリア）において、提灯り等を実施
- 山口ナイト開催日は、飲食・物販等も21時まで営業
- その間、夜のイベントならではのアトラクションを設け

○今後の主なスケジュール

平成26年度	7月下旬~8月上旬	○基本計画最終調整→策定
	8月2日(土)~8月3日(日)	○世界スカウトジャンボリー1年前イベント
	8月中旬	○実施計画作成業務プロポーザル説明会
	9月中旬	○実施計画作成業務発注業者決定
平成27年度	10月上旬	○第2回ジャンボリー庁内推進会議
	10月下旬	○実施計画(中間案)作成 →予算反映
	3月	○第3回ジャンボリー庁内推進会議 ○世界スカウトジャンボリー山口県支援委員会第4回総会 ○実施計画作成
平成27年度	4月1日	○運営業務発注業者決定
	7月28日(火)~7月30日(木)~	○第23回世界スカウトジャンボリー ○やまぐちジャンボリーフェスタ

【 主な意見・質疑 】

- 委員長：語学ボランティアの募集はどのように行っているのか。
- 世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：県内19校から、各2名から3名程度、やる気がある生徒、英語力について問題ないと思われる生徒を推薦してもらい、現在48名の生徒を高校生語学ボランティアリーダーと位置づけている。
- 委員長：今後、語学ボランティアはさらに増えていくのか。
- 世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：ボランティアのリーダーについては、現在の48名となる。しかし、実際にきらら浜でフェスタを行う場合、7日間で250名程度の語学ボランティアが必要になる。このため、別のセミナー等により参加を呼び掛け、ボランティアの数を増やしていくことになる。
- 岡野委員：せっかくなので、48名のボランティアリーダー以外にも出来るだけ多くの高校生にスキルアップの機会を与えてもらいたい。
- 世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：48名のスキルアップ以外に、8月に私立学校の生徒や中学生、その他一般県民の方を対象に、アトラクションやワークショップ等からなるチャレンジ研修を実施したところ、220人の参加がいただいている。1月に予定している2回目のチャレンジ研修等、引き続きしっかりと取組を進めていきたい。

○宮 部 委 員：運営ボランティアの確保はどのように行うのか。

●世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：県内の大学等に個別にお願いに行っているところ。

また、国体時にきらめきサポーターとして、ボランティア活動をされた県民の方の中で、国体後でも県主催のイベントに協力する意向を示している登録者の方や企業ボランティア、県庁OBの方等、幅広く協力を呼び掛けていく予定。

○岡 野 委 員：地域プログラムについては、どの地域で行う予定か。

●世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：全ての市町で実施を行う予定。また、学校ごとにつきましても、県内全ての小・中学校、高等学校、それから特別支援学校でスカウトの方の受け入れを行うため、今、準備を進めている。

○岡 野 委 員：スカウトへのおもてなしについて、具体的な内容はどのようなものか。

●世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：まだ、今回のモデル事業等の取組も含めて、市町のほうで検討している段階だが、例えば市民館において地元の方の太鼓演奏などの伝統芸能の披露や市民との交流などを考えており、引き続き来年の本番に向けてはしっかりした歓迎、交流ができるような準備を進めていきたい。

○岡 野 委 員：各市町の教育委員会等、関係機関との連携が大切になる。しっかりと連携をとり、全世界から来られた方々に日本の文化を満喫して帰ってもらえるよう取組をお願いします。

○岡 野 委 員：スカウトの宿泊は、どのように行うのか。

●世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：全日程ともきらら浜で行うことになる。

○岡 野 委 員：夏場であるため、食中毒の発生等が起きないように十分に衛生管理に努めてもらいたい。また、シャワー等の確保はどのように行うのか。

●世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：衛生管理については保健所の検査や指導を受けながら、食中毒を決して発生させないように対応していく。

シャワー等については、会場内に日本連盟が設置を行う予定。日本ジャンボリーの際に数が不足したという話も聞いているが、そのことは日本連盟自体も意識をしており、数を増やすといった形で対応すると聞いている。

○宮 部 委 員：最近災害が多いが、大雨や雷等により野営が難しい場合はきららドームに収用することになるのか。

●世界スカウトジャンボリー開催支援室次長：日本ジャンボリーの規模であれば、きららドームと近くの屋内プールに収容することで対応は可能かと考えている。そこで足りない場合は、県で言えばセミナーパークや山口南総合支援学校、計量検定所、近隣の公民館や学校等を避難場所として確保するよう準備を行っていきたい。